



株式会社 アイエスイー

本社/伊勢市御園町新開80番地 大西ビル301号
TEL. 0596-36-3805 <https://www.ise-hp.com/>
創業/1985(昭和60)年9月 従業員数/19名(2025年1月現在)



もっと、くわしく
見てみよう!

職場見学可能です

? ICTやIoTが農林水産業でも活用されはじめているって知ってた?



最新のシステムを導入することで、作業の効率化を図り、働き手をサポートしています。

第一次産業と呼ばれる農業、林業、水産業は、少子高齢化による後継者不足や自然災害など、さまざまな課題に直面しています。私たちは、そんな状況を改善するため、ICTやIoTを活用した最新技術の開発・普及に取り組んでいます。デジタルが苦手な人でも簡単に操作できるような仕組みづくりで、作業の効率化を図り、第一次産業に従事する人の負担を少なくするシステムを考えています。

※ICT (Information and Communication Technology) は日本語で「情報通信技術」、IoT (Internet of Things) は日本語で「モノのインターネット」を意味します。



? どんな事業を展開しているの?



主に4つの分野で事業を展開し、役立つシステムを開発しています。

獣害IoT

イノシシやシカ、サルによる農作物の被害を防ぐため、ICT や IoT を活用した捕獲システムを作っています。捕獲をお知らせしたり、スマホで檻の様子を確認する仕組みも開発しています。



海洋IoT

30分おきに水温や塩分濃度などのデータを集める「うみログ」を開発しました。集めたデータをスマホやパソコンで確認することで海の異常を早期発見し、養殖環境を整えるなどの対応ができます。



林業IoT

携帯電話が繋がらない山奥では、事故があった場合に助けが遅れてしまうことがあります。そこで、無線システムを活用し、どんな場所でも助けを求め、すぐに救助できる仕組みを作りました。



地域IoT

ため池が古くなったり、大雨が降ったりすると、洪水が起こる場合があります。ため池を監視するシステムを作ること、洪水が起こる前に水を抜く対応ができるようになりました。



? どうやって製品を作っているの?



開発から導入後のフォローまで、責任を持ってサポートしています。

自分たちで作ったシステムを現場で実際に使いながら、必要なものや困りごとを見つけて改良を重ねています。全国の現場から集めた意見を活かし、より良いシステムを作るのが私たちの強みです。商品をお客さまへ提供した後もサポートを続け、新しいアイデアや課題を見つけて、さらに商品を改善しています。

①開発
「うみだす」



開発したシステムを試しながら、課題を見つけて改良していきます。

②製造
「つくる」



開発のアイデアが商品と なっていきます。

③販売
「うる」



完成した商品を全国へ届けます。

④サービス
「つきそう」



購入後のアフターケアやサポートを大事にしています。



地元の研究所や学校と一緒に商品開発に取り組むこともあります!



2021年より社内でSDGsビジョンを掲げ、取り組んでいます!

◎セミナーの定期開催

デジタルが苦手な人でもIoTを活用できるように、定期的にセミナーを開催しています。



◎IoTによる獣害対策の普及

三重県伊賀市では、地域や行政、研究機関と協力し、獣害被害を減らすことができました。その成果を全国に発信しています。



働く人の声を聞いてみよう!

Q&A

サービス営業部
Sさん



Q.どんな仕事をしていますか?

自治体から農村漁村に関する困りごとや課題を聞き取り、お客さまのニーズに合ったサービスを提案しています。現場では、機器の設置やメンテナンス作業をしています。

Q.仕事のやりがい?

お客さまの悩みを一つでも多く解決できないか、いつも考えています。苦労を重ねて解決できたときに一番やりがいを感じます。

Q.仕事でうれしかったことは?

魚の養殖場に海象データを自動で取得する機器を設置したときに「わざわざ測る手間もなくなり、魚が死ぬことも少なくなりました!」とよここびの声をいただいたことです。



開発部
Fさん



Q.どんな仕事をしていますか?

商品の設計開発を担当しています。あたらしい機能を搭載した新商品だけでなく、既存製品の機能向上や省電力化にも努めています。

Q.仕事で大切にしていることは?

失敗しないことも大切ですが、失敗を次に活かすことも大切です。備忘録を残し失敗を財産にすることで、技術力を高めています。

Q.仕事のやりがい?

商品化までの一つひとつの課題を乗り越える過程でやりがいを感じますが、ゼロから積み上げてきた商品が完成した瞬間に最もやりがいを感じます。

